

就職体験談

卒業生氏名 : ヴォ ティ ゴック ディエブ
卒業年月 : 2023 年 3 月
卒業学部 : 中部学院大学短期大学部 社会福祉学科

就職先をどのような方法で決めたのか、面接試験の対策をどのように行ったのか、私の就職体験談をお話します。

私が、就職先を探したのは2年生の前期、介護総合実習へ向かう前です。関心のあった介護福祉施設をインターネットで調べてみました。デイサービス、特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホームなどいろいろな種別の施設を調べました。施設の情報はたくさん出てきたけれど、一つずつしっかり確認しました。介護業務はどんな施設でもだいたい同じだけれど、施設によって介助方法や利用者の支援に対する考え方は違います。また、職場の人間関係は本当に大切だと思います。困ったことが有れば教えてくれる方がいるとか、手伝ってくれる方がいれば、心強くて本当に助かります。就職先を決める際に、これらのことが大切だと思うようになったのは、短大の介護実習で様々な施設を経験できたからです。

また、私は、他の施設で介護実習を行った友だちに、あの施設はどうですか、職員さんとか介助方法はどうかと聞いて情報を集めました。ゼミの先生にも相談しました。先生や友だちから、このような施設は良いよと教えてもらいました。

そして、私は、ここで働いてみたい！と思った施設へ面接の希望を伝えました。面接では、自分が5年間、介護施設でのアルバイト経験と短大で学んだ知識やそこから得た介護に対する思いを全て集めて、緊張なく自信を持ってうまく面接できました。面接では、「なぜ、介護の仕事とこの施設を選んだのですか」、「日本に来て困ったことはどんなことでしたか」、家族や大学のことなどいろいろな質問がありました。これから、中部学院大学短期大学部で学ぶ皆さんも授業や実習でたくさんの知識と技術を学びます。そして、日本での留学生活でたくさんの経験をします。ですから、自信をもって笑顔で答えることが一番大事だと思います。中部学院の大切にしている「笑顔と挨拶」は、面接に臨むとき、私にとっても一番大切にしたことですので、皆さんに伝えたいです。